

第 81 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	平成 22 年 7 月 16 (金) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分 経済調査会会議室
出席委員	江花典彦、小路直彦、佐久田昌治(委員長)、鈴木準、的場純一(五十音順)

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																																	
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」8月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・前回議事概要案が承認された。</p> <p>・審査対象資材のうち、8月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都中について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><品目></th> <th style="text-align: center;">[地区]</th> <th style="text-align: center;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上申した資材】</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物</td> <td>岡山</td> <td>原料ストアス価格の上昇を受けて、販売店の強売要から、上申。</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリートU型</td> <td>大分</td> <td>協組の値上げと員外社の安値販売回避により、上申。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【下落した資材】</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>全国</td> <td>鉄屑価格の下落と需要不振により、下落。</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>全国</td> <td>電炉メーカーの販価の引下げにより、下落。</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td>全国</td> <td>国際的な鉄屑価格の下落と電炉メーカーの買い控えにより、下落。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>札幌</td> <td>主要会社が組合から脱退し、協組の共販体制が崩れ、下落。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>さいたま、熊本</td> <td>需要が減少する中で組合から脱退した員外社との競争が強まり、下落。</td> </tr> <tr> <td>ヒューム管</td> <td>近畿</td> <td>需要減から協組と員外社の競争が強まり、下落。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上申した資材】			再生アスファルト混合物	岡山	原料ストアス価格の上昇を受けて、販売店の強売要から、上申。	鉄筋コンクリートU型	大分	協組の値上げと員外社の安値販売回避により、上申。	【下落した資材】			異形棒鋼	全国	鉄屑価格の下落と需要不振により、下落。	H形鋼	全国	電炉メーカーの販価の引下げにより、下落。	鉄屑	全国	国際的な鉄屑価格の下落と電炉メーカーの買い控えにより、下落。	生コンクリート	札幌	主要会社が組合から脱退し、協組の共販体制が崩れ、下落。	生コンクリート	さいたま、熊本	需要が減少する中で組合から脱退した員外社との競争が強まり、下落。	ヒューム管	近畿	需要減から協組と員外社の競争が強まり、下落。
<品目>	[地区]	(理由)																																
【上申した資材】																																		
再生アスファルト混合物	岡山	原料ストアス価格の上昇を受けて、販売店の強売要から、上申。																																
鉄筋コンクリートU型	大分	協組の値上げと員外社の安値販売回避により、上申。																																
【下落した資材】																																		
異形棒鋼	全国	鉄屑価格の下落と需要不振により、下落。																																
H形鋼	全国	電炉メーカーの販価の引下げにより、下落。																																
鉄屑	全国	国際的な鉄屑価格の下落と電炉メーカーの買い控えにより、下落。																																
生コンクリート	札幌	主要会社が組合から脱退し、協組の共販体制が崩れ、下落。																																
生コンクリート	さいたま、熊本	需要が減少する中で組合から脱退した員外社との競争が強まり、下落。																																
ヒューム管	近畿	需要減から協組と員外社の競争が強まり、下落。																																
<p>○鉄屑価格の変動は、棒鋼等製品価格の先行指標の意味合いがあるのか。また、上げ下げだけでなく、変動率とカー一定の価格弾力性があるのか。</p>	<p>・鉄屑価格が下がれば、鉄屑を使用する製品価格は下がるなど先行性はある。また、変動率というより、生産コストは鉄屑価格プラス何千円とかの見方があり、製品価格の変動もある幅を持って、それに比例して乱高下することがある。</p>																																	
<p>○鉄屑価格が下がったが、東日本と西日本で変動額が異なるのは何故か。</p>	<p>・鉄屑の発生自体は関東を中心に東日本が多く、特に、関東から西日本へ輸送する。このため、今回は関東が需給緩和に敏感に反応したが、関西・関東ほど需給緩和の状態にはない。この結果、変動額が異なっている。</p>																																	
<p>○生コンの共販体制がしっかりしている地区は価格も安定しているのか。</p>	<p>・一般に、組合がしっかりしているところは価格も安定している。価格が下落している地区は、需要が減少するなかで、組合からの脱退等により競争が激しくなって値下がりしている場合が多い。一方で、地区によっては組合が工場集約による需給改善を図って価格の維持に努めたりするなど、地区ごとに事情が異なる。</p>																																	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																		
<p>3. 「積算資料」8月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○電線は建築需要が振るわなくて20ヵ月連続で前年割れとあるが、何か。</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 次回開催予定</p>	<p>・審査対象資材のうち、8月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="630 336 1468 784"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 347 949 380"><品目></th> <th data-bbox="957 347 1093 380">[地区]</th> <th data-bbox="1101 347 1460 380">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 380 1460 425">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 448 869 481">型枠用合板</td> <td data-bbox="877 448 941 481">全国</td> <td data-bbox="1117 448 1460 515">産地の出荷制限により国内の品薄感が強まり、上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 537 869 571">ガス管</td> <td data-bbox="877 537 941 571">全国</td> <td data-bbox="1117 537 1460 604">原料高によるメーカーの値上げが浸透して、上伸。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 638 1460 683">【下落した資材】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 705 869 739">電線ケーブル</td> <td data-bbox="877 705 941 739">全国</td> <td data-bbox="1117 705 1460 772">海外銅相場下落と需要の減少により、下落。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・建設業者への販売が20ヵ月連続して下がっているということであり、自動車向け等他の業種で好調なところもある。建築関係は住宅より、主力のオフィスビル向けが振るわない。</p> <p>・平成22年8月17日(火) 午前10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			型枠用合板	全国	産地の出荷制限により国内の品薄感が強まり、上伸。	ガス管	全国	原料高によるメーカーの値上げが浸透して、上伸。	【下落した資材】			電線ケーブル	全国	海外銅相場下落と需要の減少により、下落。
<品目>	[地区]	(理由)																	
【上伸した資材】																			
型枠用合板	全国	産地の出荷制限により国内の品薄感が強まり、上伸。																	
ガス管	全国	原料高によるメーカーの値上げが浸透して、上伸。																	
【下落した資材】																			
電線ケーブル	全国	海外銅相場下落と需要の減少により、下落。																	

価格審査委員会規約

(目的)

第1条 財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第2条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第3条 委員は、公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員8人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月1回開催する。

(審査の報告・助言)

第6条 委員会は、第2条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第7条 委員会は、第2条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。